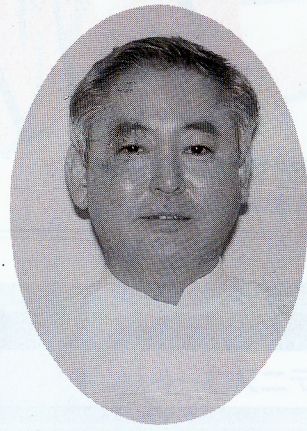


# あんぱんとおにぎり とりもつ仲、これからも 住民と企業の共存共栄を



株式会社ドングの  
小川 弘行さん

株式会社ドングの六甲アイランド工場に勤める小川弘行副工場長は、地震の日自宅にいた。その日に六甲アイランドの工場へ出勤、工場内の点検から始めた。建物の1階から3階まで見て回り、建物の無事は確認できたものの機械や商品はかなりのダメージを

受けていたという。

「当日、夜勤していた人や

出勤してきた人を帰して、社員2人で点検したんですが、機械もだめになっていましたし、荷崩れもひどかったですね。通常、毎日21台ぐらいトラックの便を出

1トが3人犠牲性になっていて...。

その日、自治会の方々が来られて物資を提供してくれないかという話だったので、取りに来て頂けるのらという事で、あんぱんや袋入りのデニッシュパンを提供しました。だいたい1万個ぐらいあったんじゃないでしょうか。

4、5日して復興委員会の方からおにぎりを頂きましてね。300食ぐらい差し入れてもらったので、社員の食事が助かりました。私たちの会社には寮があるんですが、そのころ治安が悪くなっているというところで、寮生をこちらに呼んでいたんです。こういう状況の中で、住民の方々と助け合いができてよかったと

思っています。これからも共存共栄していきたいですね。」  
現在では、なんとか平常通りの営業ができていくということだが、商品輸送の問題など残っている課題もあり、一日も早く以前と同じ状態に戻したいとのことだった。

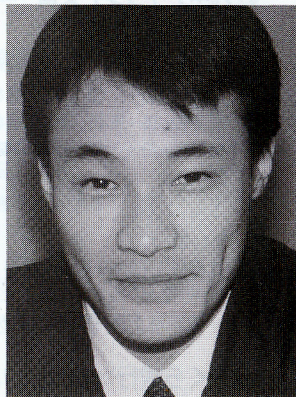
## RIC WINDS インタビュー

### 救援物資を提供 してくれた人たちに 聞いたあの日

## 東灘区役所などにも 商品を配布、災害時 だからこそその助け合い

カネテツデリカフーズ株式会社も、食料の提供をしてくれた企業の一つだ。自治会からの要請があった18日に会社にいた営業部の宮田さんはこう語る。

「地震から2日目の夕方、自治会の方々が来られました。こちらには16日の夜作っていた商品がありました。整理をしました。自治会の



カネテツデリカフーズ株式会社の  
宮田 健一さん

方がトラックをもってきてくれたんですが、全部は乗らなかつたのでこちらからもトラックを出して指定された場所まで運んでいきました。後からまた何回か取りにこられたので、提供した商品の数としては2トントラックで5〜6台になったんじゃないでしょうか。何日かして、今度は自治会の方からおにぎりを頂きまして、こちらの方もお世話になりました。」



▲5月28日の復興イベントにて。

### 再開第五回「サンセットサロン'94」 (弦楽四重奏で再出発!)

- 日 時: 7月29日(土)18:00~19:00(17:30よりワインタイム)
- 会場: 六甲アイランド RICセントラルタワー  
「シ・アンタナテ」3Fバンケットホール
- 演奏: 鷺山かおり 弦楽四重奏団  
「ディベルティメント」K136(モーツァルト)より第一楽章  
「弦楽四重奏の為のオペラリア集」他
- 料金: 1,500円 ※お問い合わせは☎857-3329 本高砂屋まで。

の地域へも救援物資を配ったという。宮田さん御自身は御影で地震にあり、自転車で会社に出勤したのが午後の2時。自宅の近くで救

助活動をしてからの出勤だった。それから3週間ほど電気が復旧するまで会社に泊まり込んだ。工場には水もタンクに溜めてあったし生活に不自由はなかったという。地震という大災害そのものはとてもつらい経験だったが、こうして助け合いができたことはこれからの六甲アイランドにとってきっと財産になるだろう。